

「NTT XR Collaboration」が裸眼立体視可能な ソニーの「空間再現ディスプレイ」に対応 ～docomo business Forum'24にて先行展示～

ドコモグループの法人事業ブランド「ドコモビジネス」を展開する NTT コミュニケーションズ株式会社(以下 NTT Com)は、3DCAD^{※1}や BIM^{※2}で作られた 3D モデルを手軽に XR^{※3} 会議空間に投影し、複数人で同じモデルを相互操作できるサービスである「NTT XR Collaboration^{※4}」に、ソニーの「空間再現ディスプレイ (Spatial Reality Display) ^{※5}」(以下「空間再現ディスプレイ」)を新たな対応デバイスとして追加します(2025年3月末リリース予定)。「空間再現ディスプレイ」が対応デバイスに加わることで、3D グラスなどを利用せずに高精細な XR 空間上で 3D モデルの編集作業が可能になります。

また、リリースに先行し、2024年10月10日(木)、11日(金)に開催される「docomo business Forum'24」の「NTT XR Collaboration」のブースにて、「空間再現ディスプレイ」と、「NTT XR Collaboration」のプロトタイプを展示します。

1. 背景

3D モデルデータを手軽に XR 会議空間に投影し複数人で相互操作できる「NTT XR Collaboration」では、現在、Powerwall システム^{※6}、ヘッドマウントディスプレイ(以下 HMD)^{※7}、Web ブラウザなどマルチデバイスで高精細な XR 映像の閲覧が可能です。さまざまなご利用シーンに応じてお客さま側で最適な利用デバイスを選ぶよう、幅広く対応デバイスを用意しています。

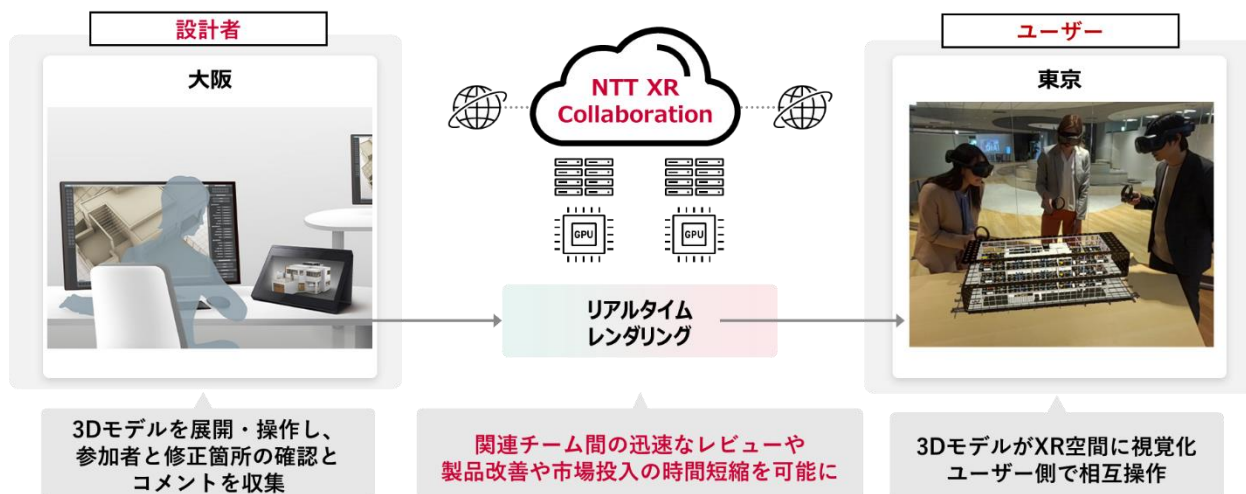
しかし、Web ブラウザでの利用だと 3D モデルの編集ができず、HMD などを利用している人と共同での編集作業ができないという課題がありました。

今回、新たに対応端末ラインナップに「空間再現ディスプレイ」が加わることで、裸眼のままでの高精細な XR 空間での立体視や作業が可能になります。

2. 概要

「NTT XR Collaboration」と実在感のある立体映像(3DCG)を裸眼で見られるディスプレイである「空間再現ディスプレイ」を組み合わせることで、XR 映像を体験するだけでなく、HMD 等で XR 空間にリモート接続しているユーザーと視点を共有しリアルタイムでのコラボレーションが可能です。複数人でのデザインレビュー等をより効率的に行うことで、制作コストの削減やリードタイムの短縮につながります。また、10 種類以上の 3D データフォーマットを事前変換不要で XR 空間に投影できる「NTT XR Collaboration」によってより多くのコンテンツを「空間再現ディスプレイ」で体験可能となり、これまで以上に多くのシーンでご利用いただけます。

<「NTT XR Collaboration」での「空間再現ディスプレイ」対応イメージ図>



3. 今後の展開

NTT Com は、「NTT XR Collaboration」の対応デバイスに「空間再現ディスプレイ」を2025年3月末に追加予定です。より多くのシーンで「NTT XR Collaboration」を利用いただけるよう、この他にも新型HMDの対応デバイスへの追加や新たな機能の開発等により、より魅力的なサービスをめざします。

4. docomo business Forum'24 出展情報

2024年10月10日(木)~11日(金)に開催する「docomo business Forum'24」にて、「空間再現ディスプレイ」と、「NTT XR Collaboration」のプロトタイプを先行展示予定です。公式Webサイトの展示情報よりご確認ください。

公式Webサイト：<https://www.ntt.com/business/go-event.html?ir=nr>

- 展示名：XRで実現する革新的な業務DX
- 展示番号：IV-18

*会場：[ザ・プリンス パークタワー東京 B2フロア](#)

*日時：2024年10月10日(木)~11日(金) 9:30~17:30

*参加方法：公式Webサイトより事前に来場お申し込みをお願いします

*参加費用：無料

The banner features the text '来たれ、DX万博へ。' (Come to DX World Expo) and 'docomo business Forum'24'. It includes the dates '10/10(木)-10/11(金) 9:30-17:30' and the location 'ザ・プリンス パークタワー東京 B2フロア'. The background is decorated with various icons representing technology, business, and connectivity, including a 5G logo.

NTT ドコモ、NTT Com、NTT コムウェアは、ドコモグループの法人事業を統合し、法人事業ブランド「ドコモビジネス」を展開しています。「モバイル・クラウドファースト」で社会・産業にイノベーションを起こし、すべての法人のお客さま・パートナーと「あなたと世界を変えていく。」に挑戦します。



https://www.ntt.com/business/lp/docomobusiness/db2024_sol.html

- ※1：3DCAD とは、3D Computer Aided Design の略称で、立体データ(3D データ)による設計支援ソフトウェアのことです。
- ※2：BIM とは、Building Information Modeling の略称で、コンピューター上に現実と同じ建物の立体モデルを再現する仕組みです。
- ※3：XR とは、VR(仮想現実)、AR(拡張現実)、MR(複合現実)といった先端技術の総称です。
- ※4：「NTT XR Collaboration」 とは、3DCAD や BIM で作られた 3D モデルを手軽に XR 会議空間に投影し、複数人で同じモデルを相互操作できるサービスです。
- ※5：「空間再現ディスプレイ」 とは、ソニーが開発した実在感のある立体映像（3DCG）を裸眼で見られるディスプレイです。ディスプレイの中には別世界が広がり、顔を動かすと目の前に実在するかのようにさまざまな角度から視聴できる、そんな新しい空間映像体験が可能になる製品です。
- ※6：Powerwall システムとは、3DCAD や BIM データを 3D プロジェクターやトラッキングカメラを使用して壁やスクリーンに投影し、3D グラスを通して没入感のある XR 映像を見ることができるシステムの総称です。また、コントローラーを使用して XR 会議空間内に視覚化した 3D モデルを操作・編集しながら、複数人でレビューをすることができます。
- ※7：ヘッドマウントディスプレイとは、ユーザーが頭に装着することでユーザーの視界に直接映像を表示し、リアルで没入感あふれる XR 体験を可能とする専用ディスプレイ装置です。